

「第26回参議院議員通常選挙における管理執行上問題となった事項の  
公表とお詫びについて」

【開票事務における集計誤り】

令和4年7月10日執行の第26回参議院議員通常選挙の開票事務におきまして、開票集計誤りという重大なミスが発生させてしまいました。町民のみなさまには選挙事務の信頼性を損なってしまったこと、また、公表が大変遅くなってしまったことにつきまして深くお詫び申し上げます。

公表が遅くなりましたのは、令和5年に予定されている地方統一選挙に向けてより十分な検証と再発防止対策を協議し、このような選挙事務的ミスを2度と起こさないよう再確認することも含めこの時期の公表とさせていただきましたのでご容赦願います。

この事態を引き起こしてしまいました経緯ですが、開票日の翌日11日に、有権者から比例代表名簿登載者の開票結果についての問い合わせがあり、開票結果を点検したところ、比例代表名簿搭載者2名の開票集計結果に誤りがあることが判明しました。

この誤りは、開票点検中に使用する集計用紙の最終累計数に50票の段階ずれによる転記の誤りがあり、選挙管理委員会事務局ではその転記誤りの数値を用いて北海道選挙管理委員会の投開票速報システムに入力を行ってしまいました。

その後の集計担当者による開票点検の再確認で誤りに気づき、集計担当者の集計票は修正がされたものの、その修正された数値は、選挙管理委員会事務局には共有されず、開票確定として、開票結果を北海道選挙管理委員会に報告したことが経緯の概要です。この集計誤りについては、道選管オホーツク支所へ開票集計結果に誤りがあった旨を当日に電話連絡し、翌日12日の午前には文書により集計の訂正を報告し、公表されております。

斜里町選挙管理委員会としては、今回の事案を大変重く受け止めるとともに、今回発生した集計誤りの検証と再発防止対策の協議を行ってきたところです。

集計ミスの検証結果としましては、集計作業の開票から第1点検、第2点検、得票数計算係、そして、北海道選挙管理委員会への報告の流れの中で、点検担当者間での情報伝達や情報共有の人的ミスによるものが原因でありましたので、具体的な再発防止対策としましては、各点検担当者間での情報伝達、突合確認を強化するべく、更に最終報告する前にもう一ヶ所総合的に確認、情報共有する担当係を追加するとともに、事務従事者に対する手順についての再度指導を行い、最新の注意をもって投票事務にあたるよう周知し、再発防止に努め、適正な選挙事務の執行に向け誠心誠意取り組んでまいりたいと考えています。

大変申し訳ありませんでした。

斜里町選挙管理委員会